

患者さんへ

「特発性肺線維症急性増悪に対する各種治療の有効性 ：過去起点コホート研究」について

1. はじめに

臨床研究とはより良い診断や治療のために医学的なデータを得るさまざまな研究のことを言います。今回の研究は、診療記録・画像検査・血液検査等の情報を用いて調査する研究です。

2. 研究について

【目的】特発性肺線維症急性増悪と診断され、入院加療を受けられた患者さんを対象に、各種治療方法の違いがどのように影響するかを明らかにすることを目的とした研究です。

【対象】2016年1月1日～2019年2月28日の期間に特発性肺線維症急性増悪と診断され入院された方。

【方法】＜研究に用いる試料・情報の種類＞

試料：なし 情報：病歴、治療歴、各種検査結果、転帰、胸部CT画像等

＜研究に用いる試料・情報の提供方法＞

提供先：京都大学大学院医学研究科

胸部CT画像は読影（丹念に観察し所見を読み、その上で診断すること）のため、関西労災病院放射線科、久留米大学放射線科、日本赤十字社医療センター呼吸器内科にも提供する。

提供方法：胸部CT画像は郵送、情報は電子媒体

【研究予定期間】西暦2021年8月31日まで

（既存試料・情報のみを用います。）

【研究実施責任者・研究主担当者】

実施責任者

山本 洋介 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野

研究主担当者・プロトコール制作責任者

阿南 圭祐 京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻 医療疫学分野

【共同研究機関・責任者】 星ヶ丘医療センター・呼吸器内科 部長 中村 孝人

その他HPの患者さんへのお知らせ参照 <https://hoshigaoka.icho.go.jp/>

3. プライバシーの保護

この研究で得られた情報を取りまとめるために、他機関にあなたの情報を提供しますが、あなたを特定できる情報は記載しません。また、この研究結果は学会や医学雑誌などに発表されることがありますが、個人が特定できないように配慮され、あなたのお名前や住所などが明らかになるようなことはありません。

4. 研究への参加について

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、遠慮なく責任者にお伝えください。たとえお断りになっても今後の治療において不利益を受けることはありません。

5. 研究責任者への連絡

この研究について、心配なことや、わからないことがあれば、いつでも遠慮なく研究責任者に申し出てください。

担当診療科： 星ヶ丘医療センター 呼吸器内科

研究責任者： 部長 中村 孝人

連絡先電話番号： 072-840-2641



この研究は当院の臨床研究審査委員会の
審査をうけ、承認を得ています。

共同研究機関および各施設の研究責任者

研究機関		研究責任者
京都大学大学院医学研究 社会健康医学系専攻 医療疫学分野 兵庫県立尼崎総合医療センター	呼吸器内科	片岡 裕貴
済生会熊本病院	呼吸器内科	川村 宏大
飯塚病院	呼吸器内科	飛野 和則
亀田総合病院	呼吸器内科	伊藤 博之
日本赤十字社医療センター	呼吸器内科	猪俣 稔
沖縄県立中部病院	呼吸器内科	喜舎場 朝雄
神戸市立医療センター中央市民病院	呼吸器内科	立川 良
関西ろうさい病院	放射線科	上甲 剛
久留米大学医学部附属病院	放射線科	藤本 公則